

は
が



にぎやかに、うどんの接待の準備をされる飯見ボランティアの皆さん

会場に移動し、あたたかいうどんの接待に笑顔がこぼれました。

ふれあい活動が 自治会の潤滑油に! 飯見ボランティア



近年にない大雪の1月16日、飯見自治会のふれあい広場で恒例のうどんが行われました。今回は特別に、飯見ボランティアの皆さんがきつねうどんの接待を行いました。

飯見ボランティアは、有志の女性の皆さんが野菜の苗づくりを行ったのが始まりで、季節の野菜を配食サービスや福祉施設に提供していました。今では、地元むつみ園での清掃活動や、「飯見ふれあい喫茶」を毎月開催しています。12月は、子どもたちといっしょに、昭和20年頃の昔の写真を見ながら、少年団（子ども会の前身）団旗祭の話を聞く企画が大変喜ばれました。

（波賀支部 可藤和成）



団旗祭の話のお礼にと、子どもたちがかなぞや朗読、けん玉披露をしました

ち
くさ

1月31日（月）から2月4日（金）までの5日間、姫路市内小・中学校特別支援学級の子どもたちが交流・校外学習のため、ちくさ高原スキー場に行ってきました。



5日間で、児童・生徒と保護者約700人が参加



会場づくりやスノーボード遊びのお手伝いをするボランティア

今年は雪に恵まれ、子どもたちはそりすべりや雪のトンネルを作って、雪遊びを楽しみました。「姫路ではこんなに雪が降らないので、子どもたちはとても楽しみにしていたんです」と引率の先生。一面の銀世界に、子どもたちの笑顔と歓声があふれ、その笑顔で寒さも吹き飛んだ5日間でした。

（千種支部 小原志のぶ）

寒さも吹き飛んだ!!
雪遊びでボランティアが活躍

